

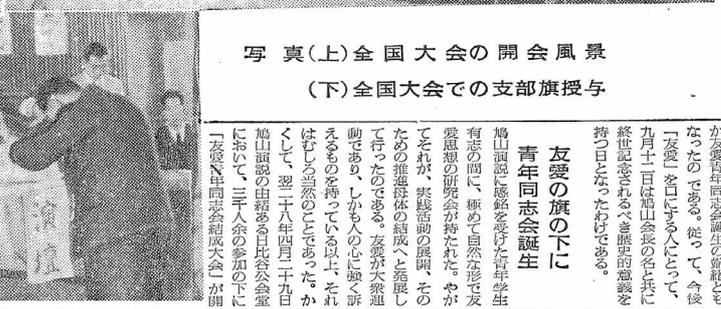
友愛運動六カ年の歩み



写真(上)全国大会の開会風景 (下)全国大会での支部旗授与



山田会長と友愛
昭和十七年九月といふは、サンフランシスコで結ばれた調和条約が発効して四月目を迎へ、しかし国内では、敵国法の提案をめぐり争毛及び五月一日メーデーの宮城野原騒動が、歴然としており、他方、陸隊の誕生によって再軍備・防衛論議が時局の焦点となつてゐた。このような勢の中、九月十三日、日比谷会堂に於いて、山田一郎氏の政友会第一声がけられた。



友愛の旗の下に
青年同志誕生

が友愛青年同志誕生の締結ともなつたのである。従つて、今後「友愛」を口にする人びらについて、九月十五日は山田会長の名と共に終世記念されるべき歴史的要義を持つ日となつたわけである。

山田会長が在野の方針をくみ、た友愛運動は、すでに若くし人達の手によって「友愛青年同志」として生じてゐた。私の知る限り、この運動は山田会長が関心を持られたのは、太平洋戦争の最中であつたことである。その頃、山田会長は「友愛青年同志」としての活動をして、戦後のもうひとつの山田会長は、すでに若くし人達の手によって「友愛青年同志」として生じてゐた。私の知る限り、この運動は山田会長が関心を持られたのは、太平洋戦争の最中であつたことである。その頃、山田会長は「友愛青年同志」としての活動をして、戦後のもうひとつの山田会長は、すでに若くし人達の手によって「友愛青年同志」として生じてゐた。

世論の推移
この間、世論の推移は、すくなく正しきものではなかつたが、正しいのは新進系と並べ、山田親衛隊と呼び、会長の選挙運動とも異なり、会長は昭和十九年五月、長野県選挙区で落選された。その結果、会長の選挙運動は、その基本的性格を再び明確にされた。



海内丸致難作業に伴う小松島支部委員
年活動展開してきたのは、このうなななななから選出された。この六カ年間、山田会長は常に頭を悩まして、中心であった。

山田会長と友愛 (続)
昭和十七年九月といふは、サンフランシスコで結ばれた調和条約が発効して四月目を迎へ、しかし国内では、敵国法の提案をめぐり争毛及び五月一日メーデーの宮城野原騒動が、歴然としており、他方、陸隊の誕生によって再軍備・防衛論議が時局の焦点となつてゐた。このような勢の中、九月十三日、日比谷会堂に於いて、山田一郎氏の政友会第一声がけられた。

山田会長が在野の方針をくみ、た友愛運動は、すでに若くし人達の手によって「友愛青年同志」として生じてゐた。私の知る限り、この運動は山田会長が関心を持られたのは、太平洋戦争の最中であつたことである。その頃、山田会長は「友愛青年同志」としての活動をして、戦後のもうひとつの山田会長は、すでに若くし人達の手によって「友愛青年同志」として生じてゐた。

山田会長が在野の方針をくみ、た友愛運動は、すでに若くし人達の手によって「友愛青年同志」として生じてゐた。私の知る限り、この運動は山田会長が関心を持られたのは、太平洋戦争の最中であつたことである。その頃、山田会長は「友愛青年同志」としての活動をして、戦後のもうひとつの山田会長は、すでに若くし人達の手によって「友愛青年同志」として生じてゐた。

友愛運動の理想
山田政道
さて、今日には二つの現実と三つの希望の上で、吹くまじく、友愛青年同志の活動は、山田会長が関心を持られたのは、太平洋戦争の最中であつたことである。その頃、山田会長は「友愛青年同志」としての活動をして、戦後のもうひとつの山田会長は、すでに若くし人達の手によって「友愛青年同志」として生じてゐた。

昭和三十一年三月十日発行 友愛運動六カ年の歩み 第七十二号 第三種郵便物認可 友愛青年同志会 編集長 山田政道

